

-会 議 録-

会議の名称	第24期東村山市社会教育委員会議（第7回）				
開催日時	令和4年5月24日（火）午後7時～9時				
開催場所	東村山市役所北庁舎1階第2会議室				
出席者 及び欠席者	<p>●出席者： （委員）</p> <p>（市事務局）</p> <p>●欠席者： （委員）</p>	<p>・杉本みさ子議長・森田 明美副議長 ・吉満 洋子委員・桑原 純委員 ・上田 幸夫委員・片岡 了委員 ・伊藤 二葉委員・小山 武士委員 ・織茂 直樹委員</p> <p>朝岡 雅洋 社会教育課長 野崎 美里 社会教育課生涯学習係長 加治 駿 社会教育課 主事</p> <p>・福島 真理委員</p>			
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の 場合はその 理由		傍聴者 数	なし
会議次第	<p>1. 開会 （1）あいさつ（議長、課長）</p> <p>2. 協議事項 （1）第24期社会教育委員会議 研究テーマについて （2）東村山市第2次生涯学習計画について</p> <p>3. 報告事項 （1）その他</p> <p>4. 閉会</p>				
問い合わせ先	<p>教育部社会教育課生涯学習係 担当者名 朝岡・野崎・加治 電話番号 042-393-5111（代表） ファックス番号 042-397-5431</p>				
会 議 経 過					

1. 開会

【課長】

第7回目の会議を開催していきたいと思います。
それでは開会に先立ちまして、議長よりご挨拶をお願いいたします。

【議長】

本日は、2つの協議事項の中に、研究テーマについても含んでおりますが、意見を沢山いただきながら決めていければ良いと考えていますので、よろしくお願いします。

【課長】

協議事項の前に、前々回・前回とご意見をいただきました社会教育関係団体補助金についてですが、市民スポーツ課が所管している内容は、同課が市長部局に異動していること、ヤングライブフェスティバル実行委員会補助金は、東京都の交付金を活用していることを踏まえて、令和4年度社会教育関係団体補助金についてご承認いただければと思います。

【議長】

令和4年度については、これまで話し合った内容を踏まえ、来年度以降についてもこの内容で進めていきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(全員承認)

2. 協議事項

【主事】

研究テーマについてですが、前回のテーマ内容を具体的に絞る必要があるので、本日は、各委員の皆様で意見交換をしていただきたいと考えています。内容としては、生涯学習・社会教育サービスの本質や現状を踏まえた課題、市公共施設再編にあたって、社会教育施設における生涯学習・社会教育サービスの在り方等について、今後の方向性を見出すためのご意見をいただければと思います。

【A委員】

公共施設の再編は、行政としては大きなテーマとなると思われましたので、この再編の中で、生涯学習・社会教育がどう関わっていくのかという視点は良いと感じました。東村山市第2次生涯学習計画でも施設の内容に触れているので、その内容を念頭に置きながら、どのようにやっていくかと考えてみるのも良いと思います。

【B委員】

具現化できる形にする必要があり、社会教育サービスとあるので、市民にどういうことができるかを踏まえて、実現に向けた内容を考えていくべきだと思います。

【C委員】

市の施設となると、いろんな部署が横断的に関わるので、その関係所管と社会教育委員がどういう風に関わっていくのか、その上で、実際のサービスを検討することが重要になるので、関係所管とこの会議体との関係性を整理することが重要と思われました。

【D委員】

今回の公共施設再編は、どんなメリット・デメリットがあるかを出して、サービスが無くなるのであれば、それを補うようなことを考えていく必要があります。老朽化した施設を再編するとあったので、場所的なサービスが無くなる可能性があります。事業の在り方や職員の配置も変わると思うので、色んな考えからサービスの在り方を切り込む必要があると思います。

新しいサービスを考えていくことを含めて提案していくことも考えられます。

【E委員】

自由にたくさんの方が使える場所・スペースを提供できる取組があればと思います。公民館に30代40代が来ないのは、サービスの問題ではなく、仕事が忙しいから来ることができないからと思いますが、仲間とサークル活動を行う場所があれば、そういうスペースを活用してくれると思いました。学級とか講座を沢山やることは今の若い人には響かないと思いますが、高齢の方に向けて行うことは良いと思います。それぞれに対して、どんなサービスが良いかというニーズを考えた方が良いと思いました。

【議長】

集まって自分たちで好きなことをやれば盛り上がるということで、同じ思いを持った人たちが活動するための場所があると、活動も活発になるのではないかと思いますので、活動できる場を提供していただくことが1つのサービスになると思いました。

【F委員】

研究テーマについて、現在は施設がたくさんあるが、今後維持するのは難しいので、施設をどのように活用していくかを考えながら、社会教育の在り方を検討することが趣旨だと思います。そういう点では、学校施設をどのように捉えていくかは大きなテーマになると思います。そこを含めて、生涯学習・社会教育サービスの在り方について、関係施設、社会教育施設を含めた全体を見通す必要があると思います。

【C委員】

今は社会教育施設などというハコモノについて、全部にお金をかけて更新をすることは出来ないなので、ハコモノを複合して、そこにいろんな機能を持たせようという再編をイメージしました。そうすると、社会教育施設と限定してしまうと、またその統合するという視点が違うと思いますので、ハコモノと結びつけない方が良いと思います。

【議長】

社会教育施設だけで社会教育をやっていくのではなく、色んな施設での活動も含めて、社会教育につながっています。公共施設の再生では、いろんなものを一緒にしていくので、その中でどんな社会教育サービスがあればということになると思います。

【A委員】

本来それぞれの目的があると思いますが、今後はその目的ではなく、その建物の中に、福祉施設とかを入れて複合化させるイメージがあると思います。機能やサービスを充実させるために、予算も人員も増えることを見越していくことが大事だと思います。社会教育委員の立場から考えれば、社会教育の機能を持つ建物に人がいっぱい来る、社会教育が行われるというのが一番望ましいと思います。そのための手段を考え、人

が来てもらうことやニーズを考え、社会教育活動ができる環境を整えることが望ましいと思います。そういったものを考えて、公共施設の再編にあたって、どういう形が良いのかで、複合的な機能を持つ場所に行って、その機能に気づくことがあるので、そういうことを含めた複合的な目的を持たせることも意図にあると考えています。

【G委員】

公民館の機能とか図書館などの社会教育の機能を考えて、そこにプラスで、いろんな施設の複合的な施設になったら、それを取り入れていくという解釈をしました。

【F委員】

タイトルで行きますと、生涯学習・社会教育の活動やサービスを提供していくのは、社会教育施設となっていますが、実際はその生涯学習や社会教育サービスの受け手としては、もう少し幅広くとらえていこうという期待があるのかもしれませんが。

【D委員】

社会教育活動を社会教育施設だけでやっていくということではなく、高齢者施設とか地域施設とかでも生涯学習・社会教育は行われていると思いますが、これからの将来を見通して、生涯学習施設以外にも行われていることを視野に入れていくことであれば、もう少し幅広くとらえていく設定も考えられると思いました。

【F委員】

社会教育施設を軸にして、関連施設との連携・協働ということも考えられます。

【D委員】

当初は社会教育施設に限定して、研究テーマを設定していましたが、これから複合施設とか社会教育関連施設とかで社会教育サービスをしていくことになるので、テーマのタイトル中、「社会教育施設」から「施設」を取ったほうが良いかと思います。副題として、社会教育関連施設の連携や協働があれば良いと思い、公民館でないと社会教育サービスを提供できないとかではなく、社会教育施設ではなくてもできるという議論になっているので、社会教育施設にこだわるかどうかということだと思います。

【A委員】

社会教育施設となった場合、社会教育サービスとは何かと話の中に出てきます。わざわざ絞り込まず、大枠を出したほうがいろんな話が出やすいのではないのでしょうか。

【議長】

テーマのタイトルを、市公共施設再編にあたっての生涯学習・社会教育の在り方についてとして、今後の検討でサービスなどについて検討する形でよろしいでしょうか。

(全員承認)

では、協議事項1番を終了し、協議事項2番について説明をお願いします。

【主事】

東村山市第2次生涯学習計画の今後についてとなり、本計画は、10年計画となりま

すが、進捗状況を確認する必要があり、施策の展開がメインとなります。この内容に関する成果課題等を抽出し、その内容を踏まえて、本計画にも掲載しておりますが、5年後を目安に点検・評価を行うようにしたいと思います。また、本計画は令和12年度に終了しますので、その後の方策について、約2年前に検討する必要があるため、その前にも成果課題等の抽出をしたいと考えています。第3章第4節の施策の展開における成果課題の抽出等を3年ごとに実施していき、それに応じて、点検・評価や今後の方策について検討していくことを考えておりますので、よろしくお願ひします。

【H委員】

この点検・評価や見直しの方法で、市民の意見は入れるのでしょうか。

【主事】

市民アンケートのことだと思われませんが、本計画は市民に向けた内容となり、評価方法の一つにその内容を盛り込むことも今後検討をしていきたいと考えています。

【D委員】

第3者からの評価や意見を取り入れる行方予定はあるのでしょうか。

【主事】

関係所管だけの評価ではなく、審議会の方などの第3者からのご意見をいただくことも大事になるので、そちらも視野に入れていながら、検討していきたいと思ひます。

【議長】

では、今回いただいたことを意見として受け止めていただき、今後の進め方については、提示していただいた通りに進めていくということで、よろしいでしょうか。

(全員承認)

3. 報告事項

(1) その他

.....
次回 令和4年6月27日(月) 19時～ 市民センター
.....

●副議長よりあいさつ

4. 閉会

※資料が必要な方は社会教育課までご連絡ください